

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和6年3月26日(2024.3.26)

【公開番号】特開2022-160072(P2022-160072A)

【公開日】令和4年10月19日(2022.10.19)

【年通号数】公開公報(特許)2022-192

【出願番号】特願2021-64593(P2021-64593)

【国際特許分類】

H 04 W 12/50(2021.01)

10

H 04 W 12/47(2021.01)

H 04 W 76/10(2018.01)

H 04 W 4/80(2018.01)

H 04 W 84/10(2009.01)

H 04 M 1/00(2006.01)

G 06 K 19/07(2006.01)

G 06 K 19/06(2006.01)

G 06 K 7/10(2006.01)

G 06 K 7/14(2006.01)

【F I】

20

H 04 W 12/50

H 04 W 12/47

H 04 W 76/10

H 04 W 4/80

H 04 W 84/10 110

H 04 M 1/00 Q

G 06 K 19/07 230

G 06 K 19/06 037

G 06 K 19/06 112

G 06 K 7/10 252

30

G 06 K 7/14 017

G 06 K 7/10 464

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理端末との間で近距離無線通信を行う第1通信部と、

前記近距離無線通信を介して前記情報処理端末と接続するための第1接続情報を記憶する第1記憶部と、

前記近距離無線通信を介して自己と接続するための第2接続情報を出力する第1出力部と、

前記第2接続情報の出力を制御する第1制御部と、を備え、

前記第1制御部は、前記情報処理端末により前記近距離無線通信を介して送信された前記第1接続情報が前記第1記憶部に記憶されていない場合、前記第1出力部から前記第2

50

接続情報を出力させることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記第1制御部は、前記第1通信部が前記情報処理端末から前記近距離無線通信の電波を受信していない場合、前記第1出力部から前記第2接続情報を出力させることを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記第1出力部は、二次元コードを出力する表示部を備え、

前記第1制御部は、前記第2接続情報を前記第1出力部に出力させる場合、前記第2接続情報を前記二次元コードとして前記表示部に出力させることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

10

【請求項 4】

前記第1出力部は、非可聴音を出力する音出力部を備え、

前記第1制御部は、前記第2接続情報を前記第1出力部に出力させる場合、前記第2接続情報を前記非可聴音として前記音出力部に出力させることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置と、前記情報処理端末と、を備えた情報処理システムであって、

前記情報処理端末は、

前記情報処理装置との間で前記近距離無線通信を行う第2通信部と、

前記第1出力部に出力された前記第2接続情報を取得する取得部と、

前記取得部が取得した前記第2接続情報に基づいて、前記情報処理装置との間の前記近距離無線通信の設定を行う第2制御部と、

前記情報処理装置との間で前記近距離無線通信の設定が行われた場合、前記取得部が取得した前記第2接続情報を記憶する第2記憶部と、

を備えることを特徴とする情報処理システム。

20

30

40

50